

## 新年を笑顔で走り初め

第39回北秋田市元旦マラソン

新年恒例の北秋田市元旦マラソンが、1月1日に市役所周辺の市道をコースに行われ、222人が参加し、降りしきる雪にも負けず元気に走り初めを楽しみました。

元旦マラソンは北秋田市陸上競技協会が主催し、今年で39回目となります。距離2キロのファミリーコースと4キロのチャレンジコースの2種目で行われました。

大勢の観客が見守るなか、号砲とともにランナーは勢いよく駆け出し、沿道の家族や友人から熱い声援を受けながら思い思いのペースで走り、新年の走り初めをにこやかに楽しみながらゴールを目指しました。



## 決意を新たに精進を誓う

令和2年北秋田市消防出初式

令和2年北秋田市消防出初式が、1月4日に銀座通り商店街、市文化会館で行われ、消防団員500人が参加し、今年一年の無火災と無災害を願うとともに、消防団員としての決意を新たにしました。

式典では津谷市長が「市として、安心・安全なまちづくりを引き続きまい進していく。消防団員の皆さんも、市民の生命と財産、および郷土の繁栄のためにさらなる精進をお願いする」などと式辞を述べました。

その後、秋田県知事表彰や秋田県消防協会長表彰などの表彰が行われ、消防団員に表彰状が授与されました。



## みんなに勇気をありがとう

秋田北鷹高校全国高校駅伝結果報告

全国高校駅伝競走大会に出場した、秋田北鷹高校陸上競技部女子駅伝チームの選手たちが、12月27日に市役所を訪れ、津谷市長に結果を報告しました。

同校としては2年ぶり3回目の全国大会出場となりました。県大会タイムからの予想順位を超える力走で、最後まで笑顔でたすきをつなぎ、ゴールまで走り抜きました。

キャプテンである野呂くれあさんは「今回、多くの方々のおかげで都大路の舞台で走ることができ、感謝している。全員が笑顔でたすきをつなぐことができた」などと、津谷市長に結果を報告しました。



## 2021年の世界遺産登録を目指す

伊勢堂岱遺跡がユネスコ世界遺産への推薦決定

伊勢堂岱遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が、12月19日の世界遺産条約関係省庁連絡会議を経て、12月20日に閣議了解がなされ、世界遺産への推薦が正式決定しました。

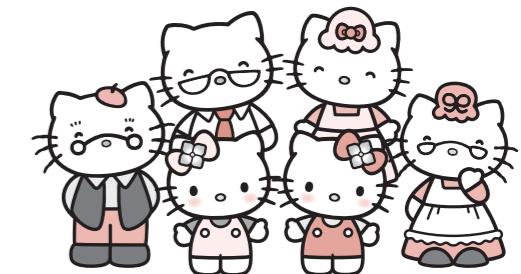
今回を機に、世界の方にわかりやすいよう英語表記が「Jomon Prehistoric Sites in Northern Japan」に変更されました。

津谷市長は「伊勢堂岱遺跡の保存活用に協力いただいている関係者や市民の皆さまと喜びを分かち合い、遺跡の魅力発信に一丸となって取り組んでいく」とコメントしました。



市内のいろいろな出来事を紹介します

# ちいきの話題



## 心和らぐ歌声に聞き入る

北秋田市民病院でクリスマスコンサート

クリスマスコンサートが、12月25日に北秋田市民病院で行われ、秋田声楽研究会混声合唱団（三澤由美子代表）による歌声が響きわたりました。

このコンサートは、音楽を通じ、患者の気持ちを少しでも和らげてほしいと、北秋田市民病院が企画したものです。

三澤代表が「今年一年歌ってきた歌やクリスマスにふさわしい曲を病院の患者さんにお届けしたい」と挨拶したあと、待合ホールで歌声を披露。ホールに集まった患者や職員などの参加者は、やさしい歌声が奏でるメロディーに、じっと聞き入っていました。

